

資料編

資料1 用語集

【あ行】

あせつとまねじめんと アセットマネジメント	中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動を指す。
いちにちさいだいはいすいりょう 一日最大配水量	年間の一配水量のうち最大のもの (m ³ /日)。
いちにちへいきんはいすいりょう 一日平均配水量	年間配水量を一日あたりに換算したもの (m ³ /日)。
えいぎょうしゅうえき 営業収益	主たる事業活動から生ずる収益で、水道料金や受託工事収益等のこと。

【か行】

きぎょうさい 企業債	地方公営企業が行う建設改良事業等に要する資金に充てるために起こす地方債（1会計年度を超えて行う借入れ）のこと。
きぎょうさいしゅうかんきん 企業債償還金	企業債の発行後、各事業年度に支出する元金の償還額または一定期間に支出する元金償還金総額をいう。
きゅうすいくいき 給水区域	厚生労働大臣の認可を受け、一般の需要に応じて給水を行うこととした区域をいう。
ぎょうしゅう 凝集	水中のごみ同士をくっつけて重くし、沈みやすくすること。浄水場では凝集剤（薬品）を入れて電気的にごみを集めてくっつける。
ぎょうせいくいき 行政区域	行政を行う上での、地域の区分の仕方の単位。
ぎょうむしひょう 業務指標	水道サービスの目的を達成し、サービス水準を向上させるために、水道事業全般について多面的に定量化するもの。水道事業ガイドライン JWWA Q100（平成17年制定、平成28年改正）にて定められ、ビジョン作成時の活用等が推奨されている。



<small>きんきゆうしゃだんべん</small> 緊急遮断弁	地震や管路の破裂などの異状を検知すると、配水池の貯留水の流出防止を図るため、ロックやクラッチが解除され、自動的に自重やおもり又は油圧や圧縮空気を利用して緊急閉止できる機能を持った弁。
<small>けいえいしひょう</small> 経営指標	企業の経営状態や財政状況を様々な角度から分析するための切り口となる項目。
<small>けいえいせんりやく</small> 経営戦略	将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な投資・財政計画。
<small>けいかくきゆうすいじんこう</small> 計画給水人口	水道法では、水道事業経営の認可に係わる事業計画において定める給水人口をいう。
<small>けいしゃばんちんでんち</small> 傾斜板沈澱池	沈澱池の固液分離部に傾斜した板を多数設置して、沈降面積を増やし、処理能力を向上させた沈澱池のこと。
<small>げんかしょうきやく</small> 減価償却	地方公営企業法では、すべての資産をその耐用年数で均等に費用計上することとされており、これを減価償却といい、その費用を減価償却費という。資産の耐用年数は地方公営企業法施行規則等で定められている。
<small>けんせつかいりょうひ</small> 建設改良費	水道施設を新たに建設したり、古い施設を更新したりするための費用。
<small>こうしつえんかびにるかん</small> 硬質塩化ビニル管	塩化ビニル樹脂を主原料とし、安定剤、顔料を加え加熱した押出し成形機によって製造した管。
<small>こていしさん</small> 固定資産	公営企業が1年以上にわたって所有する土地、建物及び構築物等の資産のこと。
<small>こていしさんじょきやくひ</small> 固定資産除却費	滅失などにより用途廃止となった固定資産を廃棄する際に、帳簿上から取り除く（当年度の費用として計上する）価額のこと。

【さ行】

<small>ざんりゅうえんそ</small> 残留塩素	<p>水に注入した塩素のうち、消毒効果をもつ有効塩素として消失せずに残留している塩素のこと。窒素化合物と結合している結合残留塩素の形態と、次亜塩素酸又はそのイオンで存在する遊離残留塩素の形態が存在する。結合残留塩素より遊離残留塩素の方が酸化力及び殺菌効果が高い。</p>
<small>じぎょうにんか</small> 事業認可	<p>水道事業又は水道用水供給事業を営もうとする際に、厚生労働大臣又は都道府県知事から受ける認可をいう。</p>
<small>しほんてきしゅうし</small> 資本的収支	<p>企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良及び建設改良に係る企業償還金などの支出と、その財源となる収入。</p>
<small>しゅうえきてきしゅうし</small> 収益的収支	<p>1 事業年度の公営企業の経営活動に伴い発生するすべての収益とそれに対応するすべての費用。</p>
<small>せきめんかん</small> 石綿管	<p>アスベスト、セメント、珪砂を水で混ぜて製造した管。アスベスト吸入による健康への影響が問題となり、現在、製造が中止されている。</p>

【た行】

<small>たいようねんすう</small> 耐用年数	<p>固定資産が、その本来の用途に使用できると見られる推定の年数を耐用年数という。また、地方公営企業法施行規則で会計処理上の減価償却の期間として定められたものを法定耐用年数という。</p>
<small>だうんさいじんぐ</small> ダウンサイジング	<p>水需要の減少や技術進歩に伴い、施設更新等の際に施設能力を縮小し、施設の効率化を図ることをいう。</p>
<small>たかいけいほじょきん</small> 他会計補助金	<p>災害の復旧その他特別の理由により、地方公共団体が、一般会計又は他の特別会計から地方公営企業会計に対して行う補助。この補助には、営業助成の補助金と施設に対する補助金とがある。</p>



だくたいるちゅうてつかん ダクタイル 鑄鉄管	鑄鉄に含まれる黒鉛を球状化させたもので、鑄鉄に比べ、強度や靱性に富んでいる。施工性が良好であるため、現在、水道用管として広く用いられている。
ちようきまえうけきんれいにゆう 長期前受金戻入	固定資産取得のために交付された補助金などについて、減価償却見合い分を収益化したもので、現金の伴わない収益。
ちんでんち 沈澱池	水よりも重い粒子は、静水中やきわめて静かな中では沈降して分離する。この原理を利用して、原水を静かに流れる広い池に流入させて原水中の粒子（懸濁物）を分離する池のこと。
どうりよくひ 動力費	浄水場や配水場などの機械装置等の運転に必要な電気料のこと。
とくべつりえき とくべつそんしつ 特別利益（特別損失）	当年度の経常収益（経常費用）から除外すべき特別の損益。
どくりつさいさん 独立採算	公営企業が税収に頼らず自己の収入によって経営を行うこと。

【な行】

なまりせいきゆうすいかん 鉛製給水管	材料に鉛を用いた給水管。鉛は柔軟性に富み、加工が容易なことから古くから水道管として使用されてきた。通常の使用では健康に問題はないが、長時間水が滞留した場合は水道水中へ鉛が溶出し、水道水中の鉛濃度が水質基準を超過するおそれがあることから、現在では全国的に取替が行われている。
-----------------------	--

【は行】

はいすいぽんぶせい 配水ポンプ井	配水量の変動によって生じる池の水位変動や流入の不均衡による水流の乱れによって発生する空気が、配水ポンプへ流入することを防ぎ、安定した水の供給を行うために設置する貯水槽。
---------------------	--

ふかいど 深井戸	被圧地下水を取水する井戸をいう。被圧地下水とは、帯水層（地下水を含んでいる地層）が難透水性の地層に挟まれており、圧力を有している地下水である。水温は年間を通してほぼ一定で、水質は一般的に良好である。
ふせつ 布設	地表面または、地下に水道管などを設置すること。
ふろっく フロック	凝集剤の注入と攪拌により原水中の濁質が互いに吸着し、水分を多量に含んだ粒子塊となったもの。
ぶんすい 分水	水道事業が、他の水道事業へ水道水を供給すること。
ぴーでいーしーえー さ い く る P D C A サイクル	継続的に業務を改善するための実行手法。具体的には、実務計画の作成（Plan）、計画に則った実行（Do）、実践の結果を目標と比べる点検（Check）、発見された改善すべき点を是正する（Action）、の4つの段階を繰り返すことで、業務レベルを向上させる手法。
ぴーぴーぴー ぴーえふあい P P P / P F I	P P P は「Public Private Partnership」の略で、官民連携事業の総称。P F I は「Private Finance Initiative」の略で、P P P の一種。P F I は P F I 法に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。
ほ て ん ざいげん 補てん財源	資本的収支は、建設改良費、企業債の償還が主な支出であり、支出が収入を上回ることが多くみられる。資本的収支の不足額について、裏付けとなる財源を補てん財源という。

【や行】

ゆうしゅうすいりょう 有収水量	料金徴収の対象となる水量。
ようすいきょうきゅうじぎょう 用水供給事業	水道事業が一般の利用者に水を供給する事業であるのに対して、製造した水道水を水道事業者に供給する事業（京都府営水道など）。



資料2 久御山町上下水道事業経営審議会

【久御山町上下水道事業経営審議会委員名簿】

(敬称略)

選出区分	氏名	職名(団体名)
学識経験者 第1号委員	会 長 <small>にしがき やすゆき</small> 西垣 泰幸	龍谷大学経済学部教授
	副会長 <small>いとう さだひこ</small> 伊藤 禎彦	京都大学教授 大学院工学研究科都市環境工学専攻
	<small>まつわか えりこ</small> 松若 恵理子	公認会計士
上下水道事業有識者 第2号委員	<small>そわ よしひろ</small> 曾和 良広	京都府建設交通部公営企業管理監兼 副部長
住民公募 第3号委員	<small>みずの むつの</small> 水野 睦乃	住民委員
	<small>てらい みき</small> 寺井 美紀	住民委員
その他 第4号委員	<small>くぼた けんじ</small> 久保田 健司	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 京都工場 メンテナンス課 課長
	<small>おびなた のりゆき</small> 大日方 則如	京都機械工具株式会社 ものづくり技術本部 生産技術部 生産技術課 設備技術係 係長

※久御山町上下水道事業経営審議会条例第3条第2項に定める第1号委員から第4号委員の順

【久御山町上下水道事業経営審議会の審議経過】

開催日		審議内容
令和4年度	第2回 令和4年 10月6日	(1) 諮問 (2) 水道事業ビジョン（第2次）について ア 水道事業ビジョンの策定にあたって イ 水道事業の概要 ウ これまでの主な取組 (3) 施設見学（佐古浄水場）
	第3回 令和4年 11月2日	(1) 令和4年度第2回会議の概要 (2) 水道事業ビジョン（第2次）について ア 現状と課題 イ 将来の事業環境
	第4回 令和5年 2月1日	(1) 令和4年度第3回会議の概要 (2) 水道事業ビジョン（第2次）について ア 将来の事業環境 イ 投資・財政計画（収支計画）
	第5回 令和5年 3月30日	(1) 令和3年度久御山町水道事業会計決算の報告について (2) 令和3年度久御山町水道事業経営戦略の事後検証について (3) 令和3年度久御山町下水道事業会計決算の報告について
令和5年度	第1回 令和5年 5月19日	(1) 令和4年度第4回会議の概要 (2) 水道事業ビジョン（第2次）について ア 投資・財政計画（収支計画）
	第2回 令和5年 8月9日	(1) 水道事業ビジョン（第2次）について ア 将来の事業環境 イ これからの水道事業 ウ 具体的施策 エ 投資・財政計画（収支計画） オ ビジョンの実現に向けて
	第3回 令和5年 10月10日	(1) 久御山町水道事業ビジョン（第2次）（案）について (2) 答申（案）について (3) パブリックコメントの実施について
	パブリックコメントの実施（令和5年11月1日～11月30日）	
第4回 令和6年 1月19日	(1) パブリックコメントの結果報告について (2) 久御山町水道事業ビジョン（第2次）（案）の修正について (3) 答申（案）の修正について	





久御山町水道事業ビジョン(第2次)

安全・安心な水を未来につなぐ みんなで支えるくみやま水道

久御山町事業環境部上下水道課

〒613-8585 京都府久世郡久御山町島田ミスノ38番地

TEL:075-631-9987 0774-45-3919

FAX:0774-46-0086

E-mail:suido@town.kumiyama.lg.jp

はじめる!
ゼロカーボン

くみやま